

マスターズ甲子園東京都大会規定
(2015.2.7)

I 大会の目的・大会本部・適用試合

- 1) 今大会はマスターズ甲子園の精神に則り、選手相互の親睦およびチーム間の交流を目的とし、真摯な態度で行うものとする。
- 2) 選手登録承認・大会運営・試合進行・違反処分等を行う機関として、東京都高校野球 OB クラブ連合内に大会本部を設ける。大会本部の構成員は別途定める。
- 3) 当規定を適用する試合は、マスターズ甲子園東京都予選、マスターズ甲子園関東大会東京都予選とする。その他の試合に適用する場合は、当該試合実施前に本部より試合参加チームに周知することとする。

II 試合規則

- 1) 試合は公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則およびマスターズ甲子園試合規則を適用する。
- 2) 試合は9回のイニング制とする。
- 3) 規定時間終了時点で得点差の無い場合、予選は勝敗を決することなく同点のまま終了するが、準決勝以降はタイブレークにより勝敗を決する。ただし、グラウンド使用時間等の事情でタイブレークの実施が不可能な場合は、じゃんけんで勝敗を決する。
- 4) グラウンド使用時間等の事情で試合時間に制限を設ける必要がある場合は、試合開始より2時間が経過した時点のイニングを最終イニングとする。同点の場合は、前項で定めた方法で勝敗を決めるものとする。
ただし、予選に関してはグラウンド使用時間等の事情で試合時間に制限を設け、試合開始より1時間50分が経過した時点のイニングを最終イニングとする。
- 5) 出場選手は1回から4回までを34歳以下の選手、5回以降を35歳以上の選手としなければならない。ただし、4回以前に35歳以上の選手が出場することは妨げない。また、1回から4回において投手は30歳以上でなければならない。
ただし、3回表終了時に試合開始後45分を経過している場合は、4回から35歳以上のチームで新たに1番打者から試合を行う。
- 6) 年齢は、当該試合が行われる年の4月2日時点のものとする。

- 7) 一人の投手の投球回数は延べ2回（6アウト）を上限とする。ただし、ダブルプレー等のやむを得ない場合は、7アウト以上になることを妨げない。
- 8) 降雨・日没など天候状態により試合続行が不可能と審判が判断した場合は、コールドゲームとする。5回完了時、または5回表完了時に後攻チームの得点のほうが多い場合は試合成立とする。ただし、決勝戦については、コールドゲームを適用するか否かを試合前に本部が決定する。
- 9) 1試合を通じたタイムの回数は、各チーム攻撃3回・守備3回とする。
- 10) 予戦において、勝ち数が同じチームの順位は、以下によって決定するものとする。
 - 優先ルール①：勝ち点の一番多いチーム
 - 優先ルール②：直接対決における勝利チーム
 - 優先ルール③：得点をイニング数で割った得点率から失点をイニング数で割った失点率を引いた「得失点差率」が大きいチーム
 - 優先ルール④：失点をイニング数で割った「失点率」が小さいチーム
 - 優先ルール⑤：くじ引きで勝ったチーム

また、不戦勝の場合は9イニング実施相当で9対0のスコアとする。くじ引きのやり方は、都度本部が決定するものとする。

Ⅲ 選手登録

- 1) 試合出場できるのは、選手登録をした選手に限る。
- 2) 選手登録は元高校硬式野球部関係者（高校野球部部員、監督、部長、コーチ、マネージャーのOB・OG）であること。OB・OGとは高校野球部に一時期でも在籍したことのある者とする。

選手登録は、大学野球（準硬式を含む）、社会人野球（企業チーム・クラブチーム）の現役選手、ならびにプロ野球関係者（球団職員、審判員、スカウト、記録員等を含む）に該当しないことを要件とする。

以下の場合については選手登録を認める。

 - ① 軟式野球の現役選手である場合。
 - ② 大学野球、社会人野球の関係者（監督・部長・コーチ・マネージャー）である場合。ただし選手兼任の場合は不可。
- 3) 選手登録手続きは、所定の選手登録用紙に記入、本部に提出することで行われる。ただし、1チームにつき34歳以下14名以上、35歳以上15名以上の編成とし最大50名までの登録とする必要がある。
- 4) 各チームには、必ず監督・主将をおかなければならず、大会中の選手および応援団等すべての行動を管理監督しなければならない。

IV ユニフォーム及び用具等

- 1) 使用球は別途定める大会公認硬式球とする。
- 2) ベンチに入る選手・監督は、全員が野球のユニフォーム・帽子を着用しなければならない。ユニフォーム・帽子は母校のデザインのもので望ましいが、統一を義務付けるものではない。なお、ユニフォームへは重複を避けて背番号を付すように努めること。また、マネージャーは、ユニフォームまたはベンチ入りに相応しい服装を着用すること。
- 3) 金属バットは、日本高校野球連盟が承認したもののみを使用できることとする。
- 4) 打者・走者・ランナースクーチとも必ず「S マーク」付きのヘルメットを着用しなければならない。
- 5) 捕手は、試合出場時、ブルペン内問わず、必ずプロテクター、レガース、マスクを着用しなければならない。
- 6) バットリング、金属棒の使用は禁止する。
- 7) その他、上記に定めのない事項については、アマチュア野球規則に準ずるものとする。

V その他

- 1) 試合チームは、試合開始予定時刻45分前までに到着し、監督または主将が本部に到着を報告すること。延着の場合は棄権とみなす。
- 2) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- 3) 両チームは、試合前に「ベンチ入り選手名簿」（当日ベンチに入る選手・監督・マネージャーの名簿。マネージャーは最大3名まで。）「スターティングメンバー表」（1回開始時および5回開始時の2種）を各3通提出すること。提出方法や時間等は別途定める。
- 4) ベンチ内には、「ベンチ入り選手名簿」または「スターティングメンバー表」記載の人以外は入ることができない。違反の場合は審判または大会本部より注意を行い、改善が見られない場合、3回目の注意の時点で没収試合とする。
- 5) 試合前シートロックは7分とする。ただし、天候・試合進行等の理由で短縮または省略する場合もある。
- 6) 出場選手は攻守交代等を迅速に行い、試合の進行を早めるよう心がけること。
- 7) 判定について抗議できるのは、当該選手および監督のみとする。その場合も、あくまで親睦精神を忘れず、冷静な態度を遵守すること。また、抗議を経た審判の最終決定に再度抗議することはできない。

VI 違反に対する処分

- 1) 本規定に関する違反が明らかになった場合は、本部が事実関係を調査・検討の上、没収試合を含む処分を決定することとする。

以 上